

地域コミュニティー部門賞

青森県 水土里ネット小田川

地域住民や教育機関、法人などを巻き込み 地域一体となった保全体制の構築を目指す

将来の担い手となる児童を対象に
施設見学会や環境保全活動を実施

水土里ネット小田川が管轄するのは、青森県の五所川原市と中泊町にまたがる県内有数の穀倉地帯です。土地改良事業により農地の汎用化が進み、米や大豆、麦、花きなど多様な農産物が生産されています。



小学生を対象とした施設見学会（水土里ネット内の農業用水中央管理書）

水土里ネット小田川では、農地と農業施設を重要な地域資源と捉え、地域が一体となった保全体制を構築することが必要であるとの考えのもと、平成13年度から21世紀土地改良区創造運動に



生き物調査で採捕した魚の生態を学ぶ

事と役割を伝えることが目的で、水源やため池、頭首工、揚水機場などを見学します。見学会に参加するのは児童ですが、保護者用のアンケートを作成することで、家庭でも水土里ネットや農業水利施設について会話する機会を作っています。

2つめは、平成22年度から始まった地域の農村公園「飯詰ふれあいパーク」の環境保全活動です。この活動は、農業者や地域住民、教育機関、一般企業、水土里ネットなど多様なメンバーが参画する「飯詰環境公共推進協議会」が主催し、地域一体となった環境保全活動の推進を目的としています。なお水土里ネットは

位置図



取り組んでいます。

現在の活動は、

主に3つの柱から

成り立っています。

1つめは、平成

14年度から継続し

ている地域児童を

対象とした農業水

利施設の見学会

「水の旅」です。

水土里ネットの仕

事と役割を伝えることが目的で、水源やため池、頭首工、揚水機場などを見学します。見学会に参加するのは児童ですが、保護者用のアンケートを作成することで、家庭でも水土里ネットや農業水利施設について会話する機会を作っています。

2つめは、平成22年度から始まった地域の農村公園「飯詰ふれあいパーク」の環境保全活動です。この活動は、農業者や地域住民、教育機関、一般企業、水土里ネットなど多様なメンバーが参画する「飯詰環境公共推進協議会」が主催し、地域一体となった環境保全活動の推進を目的としています。なお水土里ネットは

協議会の事務局として、活動の計画作りや活動当日の運営などを担います。

この活動では、地元の児童たちとともに生物や水質の調査、農村公園の美化活動などを行います。また活動後には、児童たちによる学習発表会や新聞の作成が行われており、子どもたちが学びを蓄積することで、将来の保全体制の担い手として育ってくれるのではと地域の期待が高まっています。

水土里ネットが技術指導し

地域産大豆を使った焼酎を開発

3つめは、地域産大豆を原料とした焼酎「斜陽の詩」の開発です。地元の農事組合法人が全国的に珍しい大豆焼酎の開発を検討したことから、水土里ネット小田川が良質な大豆を栽培するのに欠かせない排水管理等の技術指導を実施。そして平成22年、県が奨励する大豆品種「おおすず」と県の主力米「つがるロマン」を原材料とした大豆焼酎が開発され、地元出身の小説家・大宰治の作品にちなんだ商品名がつけられました。現在は、全国的に知名度の高い大宰治を活用した地域振興策を推進するアイテムとして、地域活性化に貢献しています。

これからも非農業者を含めた地域住民が一体となり、農業資源の保全と地域の発展に努めていきます。

水土里ネット概要

水土里ネット名	水土里ネット小田川
役員数	12名
職員数	常勤24名
組合員数	2,634名
受益面積	4,067.2ha

*平成30年4月現在